

エコアクション21 環境活動レポート



平成29年度
(平成29年4月 ~ 平成30年3月)



平成30年7月2日



株式会社 シンセイ福岡



目次

1. 組織の概要	．．．．．	1
2. 対象範囲 (認証・登録範囲)	．．．．．	2
3. 環境方針	．．．．．	3
4. 環境目標	．．．．．	4
5. 環境活動計画	．．．．．	5
6. 環境目標の実績	．．．．．	6
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、 今後の取組について	．．．．．	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無	．．．．．	11
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	．．．．．	12



1. 組織の概要

① 事業所名および代表者名、所在地

事業所名 株式会社シンセイ福岡
代表者名 甲斐 圭治
所在地 〒822-0132 福岡県宮若市小伏1841-1

② 環境管理責任者および担当者名、連絡先

担当者氏名 佐藤 輝久
役職 生産部 部長
TEL 0949-52-0258
FAX 0949-52-0260
E-mail satou-t@shinsei-fukuoka.co.jp

③ 環境管理責任者および担当者名、連絡先

化粧ブロック製造及び販売・エクステリア関連商品の販売
ホームページ <http://www.shinsei-fukuoka.co.jp/>

④ 環境管理責任者および担当者名、連絡先

事業年度 : 4 月 ~ 翌年 3 月

区分	単位	平成27年度（基準年）	平成29年度
売上高	百万円	681	610
従業員数	人	28	28
床面積	m ²	4,940	4,940

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

① 対象組織

株式会社シンセイ福岡

本社・工場

〒822-0132 福岡県宮若市小伏1841-1

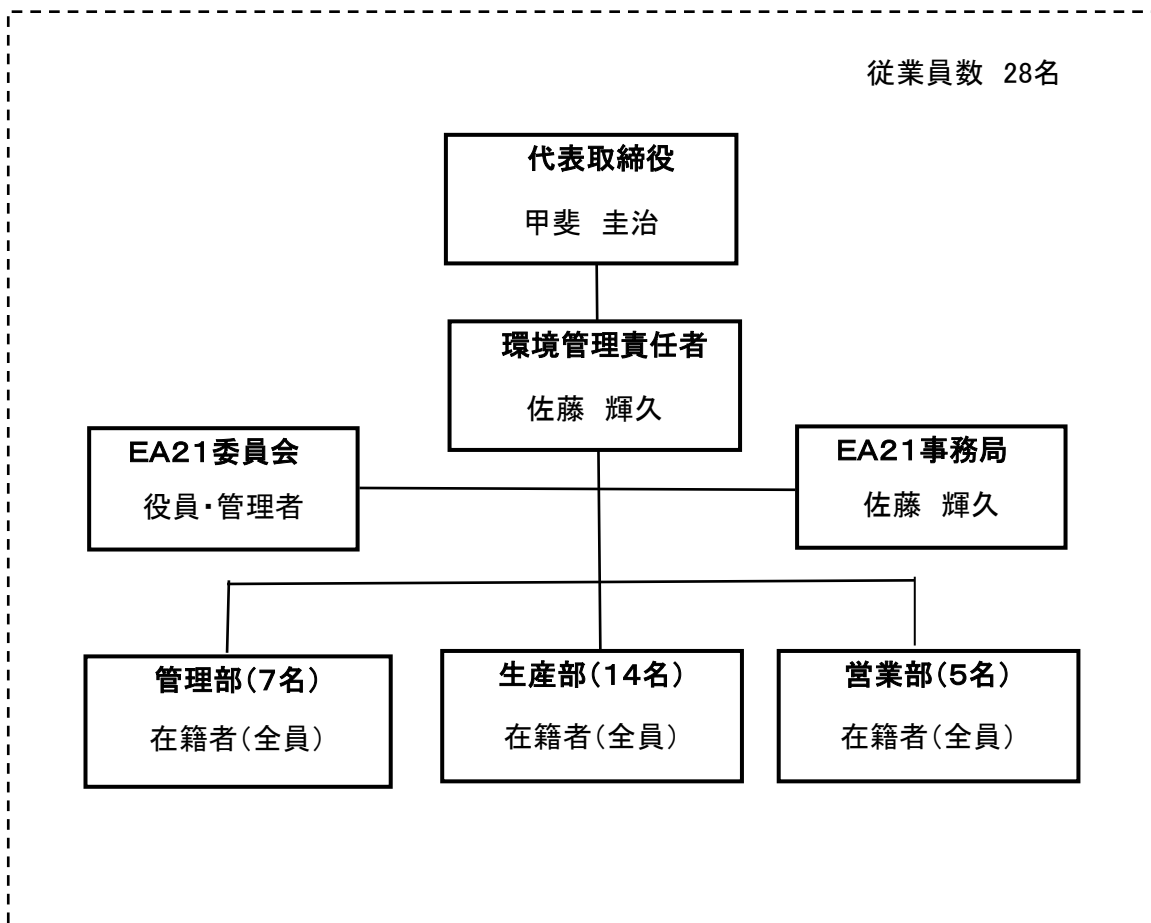
② 対象活動

化粧ブロック製造及び販売・エクステリア関連商品の販売

③ 対象外事業所

なし（全組織・全活動を対象）

<認証登録対象組織図>



3. 環境方針

<基本理念>

株式会社シンセイ福岡は、化粧ブロックの製造及び販売を行うメーカーとして、安全で快適な住環境づくりを目指し、環境負荷の低減に努めて地球環境保全に貢献する事を、社員一同労を惜しまず推進して行きます。

<基本方針>

① 次の事項に取り組みます。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 電力使用量及び化石燃料使用量の削減に努めます。

(2) 廃棄物排出量の削減

- ・ 工場の廃棄物分別の徹底に努めます。
- ・ 工場からの廃棄物排出量の削減に努めます。

(3) 水使用量の削減

- ・ 節水により水使用量の削減に努めます。

(4) グリーン購入の推進

(5) 事業活動における環境配慮の推進

- ・ 環境に配慮した製品の製造販売推進に努めます。
- ・ 化学物質の取扱いについては、適正使用、適正管理に努めます。

② 関係する環境関連法規等を遵守します。

③ 地域貢献活動を推進します。

- ・ 5S活動を通じて社内及び地域活動に取り組みます。

制定 平成25年3月25日

改訂 平成27年6月4日

株式会社シンセイ福岡 代表取締役社長

甲斐 圭治

4. 環境目標

- 環境方針を踏まえて、当社の事業活動における具体的な環境目標は、以下の6項目として設定しました。

環境目標			単位	基準年	単年度目標		中期目標			
				平成27年度 実績	平成29年度		平成30年度		平成31年度	
① 二酸化炭素排出量の削減			kg-CO2	497,316	492,343		482,397		477,423	
					△ 1	%	△ 3	%	△ 4	%
	(1)	電気使用量の削減	kWh	500,556	495,550		485,539		480,534	
					△ 1	%	△ 3	%	△ 4	%
	(2)	ガソリン使用量の削減	L	16,794	16,626		16,290		16,122	
					△ 1	%	△ 3	%	△ 4	%
	(3)	軽油使用量の削減	L	16,534	16,369		16,038		15,873	
					△ 1	%	△ 3	%	△ 4	%
	(4)	A重油使用量の削減	L	64,272	63,629		62,344		61,701	
					△ 1	%	△ 3	%	△ 4	%
② 廃棄物排出量の削減										
	(1)	一般廃棄物排出量の削減	kg	980	970		951		941	
					△ 1	%	△ 3	%	△ 4	%
	(2)	産業廃棄物排出量の削減	t	5,857	5,798		5,681		5,623	
					△ 1	%	△ 3	%	△ 4	%
③ 水使用量の削減			m³	816	808		792		783	
					△ 1	%	△ 3	%	△ 4	%
④ グリーン購入の推進			品目数	6	6		6		6	
⑤ 事業活動における環境配慮の推進 (環境配慮型製品の販売推進)			t (販売数)	57	58		59		59	
					+1	%	+3	%	+4	%
⑥ 地域貢献活動の推進			清掃活動 参加回数	4	4		4		4	

- 備考
- 下段の数値は、基準年の実績に対する削減率と増量率を示す。
 - 二酸化炭素排出量における購入電力の排出係数は、0.476kg-CO₂ /kWh（日本テクノ(株)の平成23年度実排出係数）を用いた。
 - 化学物質については、使用が少量で限定的である為、目標からは除外し活動計画の中で対応する事とした。

5. 環境活動計画

- 環境目標を達成するための具体的な取組は以下に示す通りです。

取組項目		責任者	具体的な取組活動	担当者
① 二酸化炭素排出量の削減				
(1)	電気使用量の削減	佐藤	・ エアコンの設定温度を決め、実行する。 （夏季：26℃、冬季23℃） ・ 生産工程の効率化を図り時間短縮を行う。 ・ 夏季はクールビズ、冬季はウォームビズを実施し、冷暖房使用を抑 ・ 環境、生産に配慮した設備調査及び更新の推進を行う ・ 設備電力不要時には、負荷遮断を行う	岡本 高林 塚崎 佐藤 深田
(2)	ガソリン使用量の削減	塚崎	・ エコドライブの実施 ・ 燃費性能が良い車両の選択 ・ アイドリングストップ手順を決め、実行する	米元 塚崎 塚崎
(3)	軽油使用量の削減	柴垣	・ エコドライブの実施 ・ 電気リフト採用の実施 ・ アイドリングストップ手順を決め、実行する	井上 佐藤 深田
(4)	A重油使用量の削減	佐藤	・ ボイラー稼働時間の削減 ・ 生産工程ロスの削減	西浦 高林
(5)	灯油使用量の削減	西浦	・ 温度設定を行い実施(養生室内40℃)。 ・ 不必要時の停止	西浦 深田
(6)	LPG使用量の削減	岡本	・ 使用時は、必要最小限に抑え削減に心がける	岡本
② 廃棄物排出量の削減				
(1)	一般廃棄物排出の削減	岡本	・ コピー用紙に裏紙の利用 ・ ペーパーレス化の推進 ・ 両面コピーの推進 ・ ミスコピーの防止	杉元 塚崎 杉元 岡本
(2)	産業廃棄物排出量の削減	高林	・ 分別によるリサイクルの推進 ・ 生産工程ロスの削減 ・ 設備・型枠のメンテナンス ・ こぼれた原料のリターン徹底	井上 深田 佐藤 桑原
③ 水使用量の削減				
(1)	水使用量の削減	西浦	・ ボイラー稼働時間の削減 ・ 工程ロスの削減 ・ 節水活動の推進	深田 高林 桑原
④ グリーン購入の推進				
(1)	事務用品のグリーン購入	岡本	・ エコ商品の調査 ・ エコ商品の購入推進	佐藤 岡本
(2)	設備・機器のグリーン調達	佐藤	・ 社用車を、ハイブリット車や低燃費車へ切り替えの推進 ・ フォークリフト軽油車を電気リフトへ切り替えの推進	塚崎 佐藤
⑤ 事業活動における環境配慮の推進（環境配慮型製品の販売推進）				
(1)	環境配慮型製品の販売推進	塚崎	・ 販売促進に積極的に取り組む ・ 消費者等に情報を積極的に提供する ・ 市場の調査	塚崎 米元 塚崎
(2)	化学物質の適正使用・適正保管	佐藤	・ 保護具を着用し適正使用する ・ 施錠を行い適正に保管管理する ・ SDSを使い作業者の教育を推進する	西浦 佐藤 佐藤
⑥ 地域貢献活動の推進				
(1)	清掃活動	佐藤	・ 工場に隣接する溝掃除 ・ 工場に隣接する道路脇の掃除	高林 深田
(2)	廃棄物から社会貢献	岡本	・ エコキャップ回収 ・ 使用済み切手の回収	岡本 松井

6. 環境目標の実績

- エコアクション21を運用した平成29年4月～平成30年3月における目標に対する実績は次のとおりです。

取組項目			単位	基準年	平成29年度		目標達成率	目標達成の判定
				平成27年度実績値	目標値	実績値		
① 二酸化炭素排出量の削減			kg-CO2	497,316	492,343 △ 1 %	452,938	109%	○
	(1)	電気使用量の削減	kWh	500,556	495,550 △ 1 %	475,447	104%	○
	(2)	ガソリン使用量の削減	L	16,794	16,626 △ 1 %	8,049	207%	○
	(3)	軽油使用量の削減	L	16,534	16,369 △ 1 %	15,477	106%	○
	(4)	A重油使用量の削減	L	64,272	63,629 △ 1 %	60,732	105%	○
② 廃棄物排出量の削減								
	(1)	一般廃棄物排出量の削減	kg	980	970 △ 1 %	950	102%	○
	(2)	産業廃棄物排出量の削減	t	5,857	5,798 △ 1 %	5,162	112%	○
③ 水使用量の削減			m³	816	808 △ 1 %	791	102%	○
④ グリーン購入の推進			品目数	6	6	7	117%	○
⑤ 事業活動における環境配慮の推進 (環境配慮型製品の販売推進)			t	57	58 + 1 %	94	163%	○
⑥ 地域貢献活動の推進			清掃活動参加回数	4	4	11	275%	○

備考 ● 目標達成率の算定：目標÷実績×100(削減目標の場合)、実績÷目標×100(増加目標の場合)

- 目標値下段数値は、基準年実績値に対する削減率と増量率を示す。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組について

① 二酸化炭素排出量の削減

- エコアクション21を運用した平成29年4月～平成30年3月における二酸化炭素排出量の削減目標は達成出来た。評価と今後の取組は、以下のとおりです。

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	結果と評価
(1)電気使用量の削減 (1%削減)	○ 104%	エアコンの設定温度を決め、実行する。 (夏季：26℃、冬季23℃)	○	<現状> 活動項目の推進は、継続できた。しかし、人手不足や老朽化設備による製品不良、設備トラブルによる、作業延長などあったが、目標達成できた。 <今後> ガソリン使用量の削減、軽油使用量の削減、A重油使用量の削減は活動項目の継続と設備に関して、省力化設備、老朽化設備の更新を計画、実行すると共に、品質管理の強化を行っていく。
		生産工程の効率化を図り時間短縮を行う。	△	
		夏季はクールビズ、冬季はウォームビズを実施し、冷暖房使用を抑える。	○	
		設備電力不要時には、負荷遮断を行う。	○	
(2)ガソリン使用量の削減 (1%削減)	○ 207%	エコドライブの実施	○	
		燃費性能が良い車両の選択	○	
		アイドリングストップ手順を決め、実行する	○	
(3)軽油使用量の削減 (1%削減)	○ 106%	エコドライブの実施	○	
		電気リフト採用の実施	○	
		アイドリングストップ手順を決め、実行する	○	
(4)A重油使用量の削減 (1%削減)	○ 105%	ボイラー稼働時間の削減	○	
		生産工程ロスの削減	△	

7月より社用車を全てハイブリット車へ更新した。



② 廃棄物排出量の削減

- エコアクション21を運用した平成29年4月～平成30年3月における廃棄物排出量の削減目標に対する実績は次のとおりで、一般廃棄物排出の削減目標未達、産業廃棄物排出量の削減目標達成。

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	結果と評価
(1)一般廃棄物排出の削減 (1%削減)	○ 102%	コピー用紙に裏紙の利用	○	<現状> 年間を通して活動は、十分行えていた。一般廃棄物排出量の削減は、目標達成出来た。産業廃棄物排出量の削減は、廃盤品の廃棄処分や設備の故障などが有ったが、目標達成出来た。
		ペーパーレス化の推進	△	
		両面コピーの推進	○	
		ミスコピーの防止	○	
(2)産業廃棄物排出量の削減 (1%削減)	○ 112%	分別によるリサイクルの推進	○	<今後> 活動項目の実施継続とペーパーレスの推進、設備トラブル削減の為の保全管理を行っていく。
		生産工程ロスの削減	△	
		設備・型枠のメンテナンス	△	
		こぼれた原料のリターン徹底	○	



裏紙使用の促進



ミスコピー防止の促進

③ 水使用量の削減

- エコアクション21を運用した平成29年4月～平成30年3月における水使用量の削減目標は達成出来た。評価と今後の取組は、以下のとおりです。

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	結果と評価
(1)水使用量の削減 (1%削減)	○ 102%	ボイラー稼働時間の削減	○	<現状> 活動項目の推進はできていた、稼働時間の削減に新たな活動は出来たが、工程ロス削減が出来なかった。 <今後> 工程ロスの削減を行う。
		工程ロスの削減	△	
		節水活動の推進	○	



節水活動推進中



④ グリーン購入の推進

- エコアクション21を運用した平成29年4月～平成30年3月におけるグリーン購入目標に対する実績は次のとおりです。

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	結果と評価
(1)事務用品のグリーン購入 (4品以上)	○ 7品	エコ商品の調査	○	<現状> 活動の推進が出来目標を達成できた。
		エコ商品の購入推進	○	
(2)設備・機器のグリーン調達 (2品以上)	○ 3台	社用車を、ハイブリット車や低燃費車へ切り替えの推進	○	<今後> 活動の推進を継続していく。
		フォークリフト軽油車を電気リフトへ切り替えの推進	△	

事務用品エコ商品の購入促進



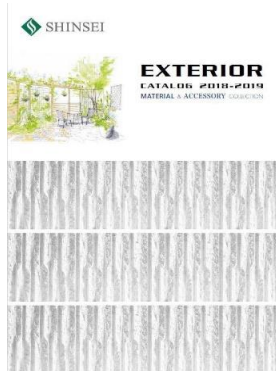
社用車をハイブリット車に変更



⑤ 事業活動における環境配慮の推進（環境配慮型製品の販売推進）

- エコアクション21を運用した平成29年4月～平成30年3月における事業活動における環境配慮の推進目標に対する実績は次のとおりです。

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	結果と評価
(1)環境配慮型製品の販売推進 (1%増加)	○ 163%	販売促進に積極的に取り組む	○	<現状> 活動項目の推進は、行えた。環境配慮型製品販売目標の達成、化学物質の適正使用、適正保管も行えた。
		消費者等に情報を積極的に提供す	○	
		市場の調査	○	
(2)化学物質の適正使用・適正保管	○	保護具を着用し適正使用する	○	<今後> 活動を継続すると共に、販売促進とSDSを活用した使用、保管を行う。
		施錠を行い適正に保管管理する	○	



⑥ 地域貢献活動の推進

- エコアクション21を運用した平成29年4月～平成30年3月におけるグリーン購入の推進目標に対する実績は次のとおりです。

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	結果と評価
(1)地域清掃活動 (年4回以上)	○ 11回	工場に隣接する溝掃除	○	<現状> 活動項目を推進し目標達成できた。
		工場に隣接する道路脇の掃除	○	
(2)廃棄物から社会貢献	○	エコキャップ回収	○	<今後> 活動を維持継続していく。
		使用済み切手の回収	○	

地域清掃活動と工場周辺清掃活動



使用済み切手回収



エコキャップ回収



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- 当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法(一般廃棄物の処理)	一般廃棄物委託基準の遵守	○
廃棄物処理法(産業廃棄物の処理)	保管基準の遵守	○
	許可業者への委託	○
	委託基準の遵守	○
	管理票(マニフェスト票)の交付	○
	マニフェストの控え(A票)の保存義務	○
	管理票(マニフェスト票)の写しの送付を受けるまでの期間	○
	管理票(マニフェスト票)の写しの保管期間	○
	管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	○
	処理状況の確認	○
	多量排出事業者の産業廃棄物処理計画	○
	産業廃棄物処理計画の実施状況報告	○
水質汚濁防止法	事故時の措置(重油タンク、軽油タンク)	○
浄化槽法	設置等の届出	○
	浄化槽管理者の義務	○
	定期点検	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン簡易点検の実施	○
	充填の委託業務等	—
	引渡義務等	—
	廃棄等引渡義務	—
毒物及び劇物取締法	毒物又は劇物の取扱	○
	毒物又は劇物の表示	○
消防法/直方・鞍手広域市町村圏事務組合火災予防条例	少量危険物の貯蔵取扱届出(A重油、軽油)	○
地球温暖化対策推進法	事業者の責務	○
グリーン購入法	事業者及び国民の責務	○
騒音規制法・振動規制法	特定施設の設置の届出	○
福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例	特定施設の設置の届出	○
	ばい煙量の測定	○

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

<環境への取り組みの評価結果>

- 従業員全員が、環境への意識を持ち取り組み活動が行えている結果として、削減目標を達成できた。
- 今期は、設備改修などを行い生産性の向上や産業廃棄物の排出量削減が出来た。
- ハイブリット車の採用を含め活動項目の推進に取組が出来た。
- 結果、二酸化炭素排出量の削減など削減するものは削減し、グリーン購入や地域貢献など増やすものは増やすことが出来た。

<見直しの結果>

- 目標達成できたが、設備全般的に老朽化が進んでいるため、トラブルや製品の不良に繋がる要因が多くある、今後も設備改修や更新を継続的に推進していく。
- 設備更新や改修を考える中で、今期は設備に関する補助金事業を活用し設備更新を行った部分は有るため、今後は省エネルギーに関係する補助事業などを活用した設備更新を計画立案して実施する事で、目標達成に繋げていく。